

和泉サナホーム便り

第18号
2019年1月吉日
(発行人)
杉並区和泉4-1
6-10
和泉サナホーム
施設長神藤公司

迎春

新年明けましておめでとございます。昨年はご利用者、ご家族、そして地域の皆様には、さまざまなことで大変お世話になり、ありがとうございます。お陰様で、和泉サナホームは5回目のお正月を迎えております。

昨年、社会福祉法人仁愛会は、創立30周年を迎え、秋には新しく新泉サナホームが開設した節目の年となりました。そして今年には平成最後の年、新しい年号の幕開けです。ご利用者とも「今年は何という年号かしら」という会話をしています。

残念ながら、明治生まれの方はいらっしゃいませんが、和泉サナホームの最高齢の方は大正5年生まれです。大正、昭和、平成そして新しい年号と、正に日本の時代を生き抜いていらっしゃる方々です。そのような尊い方々のお世話ができることに感謝しております。

近年は和暦離れなのか、西暦で記入する機会が増えてきているようです。特に若い方が入職されますと、履歴書の生年月日などがほぼ西暦で書かれており、

世代の違いを感じます。

これから先どんどん進化し、便利になっていく日常の変化を楽しみつつ、日本古来の良い伝統や習慣を忘れずに引き継ぎ、ご利用者にとつて少しでも過ごしやすい環境を提供できるよう、職員一同お一人お一人を支援していく所存です。本年も皆様方には施設運営へのご理解、ご協力そしてご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



毎年恒例のもちつきは、晴天ながらかなり風が強く寒い日となりましたが、参加されたご利用者は年に一度の力仕事に「よいしょ」「よいしょ」と精を出しておられました。皆さんでついたおもちは、残念ながら衛生上召し上がっていただくことができないため、かわいいお供えを作りました。

評議員

鈴木 慶子

明けましておめでとございます。私の担当する入居者さまは、おかげさまで、ホームで4回目のお正月を迎えることができました。昨年は1月から肺炎で2か月入院しました。点滴治療で肺炎は治りましたが、傾眠状態が続き、主治医から口から食べることはもう難しいと言われました。最後を覚悟して住み慣れたホームに帰ってきました。

すると、馴染みの空間、聞きなれた声に囲まれ、元気を少しずつ取り戻していきました。「飲み込む力はあるか」、嚥下テストを何回か繰り返し、少しずつ食事が口からとれるようになってきました。

思い起こせば、ホームに入所時は元気がいいで、ホームの式典の時など、「早くやれよ」「うるさいぞ」と絶妙なタイミングで大きな声で発し、ハラハラさせられたものです。

職員さんたちのケアのおかげで、なんとか生きる力を取り戻し、年を越すことができました。有難うございます。

これからますますお願いいたします。

鈴木様は和泉サナホームの入居者様の後見人でおられますが、社会福祉法人仁愛会の評議員もお願いしております。今後ともよろしくお願いいたします。



桧原サナホーム

新泉サナホーム



和泉サナホーム



今後とも三施設をよろしく
お願いいたします。



出演者プロフィール

Shuettee Mē morial

国立音楽大学三年生、女性3人による声楽デュオユニット。
ユニット名「Shuettee Mē morial」とはフランス語で「素敵な思い出」という意味であり、私たちの歌が、聴いてくださったお客様の心に「素敵な思い出」として残りますように、という願いが込められています。
大学生によるフレッシュな歌声をお楽しみください。

浅見 聖怜奈さん Sop.
別部 まゆ子さん Sop.
野口 愛実さん Pf.



クリスマスコンサート
2018



開催日：2018.12.9
時間：2:00pm.str
場所：和泉サナホーム 3階会議室



クリスマス会

毎年恒例のクリスマスコンサートは、今年は国立音楽大学の学生さんをお願いしました。素晴らしいソプラノの歌声に、ご利用者は興奮気味に声援を送っていました。

職員紹介、ビンゴ大会、しりとりゲーム、プレゼントなどユニットごとに楽しいクリスマス会を開きました。今年は78名のご家族がいらしてくだり、職員もいっしょにケーキを食べ、楽しい時間を過ごしました。

